

MOS Excel 2013 対策テキスト& 問題集 (FPT1401)

補足資料

最新の出題傾向に対応するために、テキスト内容を以下のように読み替えてください。(2016年3月現在)

頁	現行の内容	見直した内容
P133-135	<p>●Lesson64 問題文</p> <p>(2)セル範囲【E4 : E25】のデータバーを編集 最小値：10000 最大値：35000</p> <p>(3)セル範囲【F4 : F25】にカラースケールを設定 種類：黄、緑のカラースケール</p> <p>(4)セル範囲【G4 : G25】にアイコンセットを設定 種類：「3つの信号(枠なし)」 条件：値が100%以上の場合は緑色のアイコン 90%以上100%未満の場合は黄色のアイコン</p>	<p>問題文を見直しました。</p> <p>(2)セル範囲【G4 : G25】にカラースケールを設定 書式スタイル：赤、黄、緑のカラースケール 最小値の種類：数値で40000 中間値の種類：百分位で80パーセンタイル 最大値の種類：数値で70000</p> <p>(3)セル範囲【H4 : H25】にアイコンセットを設定 書式スタイル：3つの信号(枠なし) 条件：値が100%以上の場合は緑色のアイコン 90%以上100%未満の場合は黄色のアイコン</p> <p>●Point「《書式ルール編集》ダイアログボックス(カラースケール)」を新規に追加しました。</p> <p>①書式スタイル 2色の濃淡で色分けするときは「2色スケール」、3色の濃淡で色分けするときは「3色スケール」を選択します。</p> <p>②最小値の色 最小値のセルに付ける色を設定します。</p> <p>③中間値の色 3色スケールを選択した場合に、中間値のセルに付ける色を設定します。</p> <p>④最大値の色 最大値のセルに付ける色を設定します。</p> <p>⑤種類/値 種類には、「数値」「百分位」「パーセント」などが用意されています。「数値」は具体的な値を基準に色分けするときに選択します。「百分位」は、範囲内に順位を付けて色分けするときに選択します。小さい順位に並べて100分の何番目の順位に相当するかを設定します。</p>
P202-203	<p>●5-1-4 データ範囲を変更する 解説</p> <p>■データ範囲の変更 グラフのもとになるセル範囲を「データ範囲」といいます。グラフを作成したあとに、データ範囲を変更できます。</p>	<p>説明文を見直しました。</p> <p>グラフのもとになるセル範囲を「データ範囲」といいます。グラフを作成したあとに、データ範囲は変更できます。表に追加したデータをグラフにも追加したい場合や、項目名が正しく認識されず意図したグラフができなかった場合などに、ユーザーがデータ範囲の詳細を設定できます。</p> <p>●Point「項目名が正しく認識されない場合」を新規に追加しました。 項目名が数値の場合、軸ラベルとして認識されず、データ系列として認識されてしまうことがあります。軸ラベルとして認識させるには、《データソースの選択》ダイアログボックスで《凡例項目(系列)》から項目名を選択し《削除》をクリックします。次に《横(項目)軸ラベル》の《編集》で項目名のセル範囲を選択します。</p>

以上

Point

ルールの編集

セルに設定したルールは、あとから条件や対象となるセル範囲、設定する書式を変更できます。

ルールを編集する方法は、次のとおりです。

- ◆セル範囲を選択→《ホーム》タブ→《スタイル》グループの (条件付き書式)→《ルールの管理》→ルールを選択→《ルールの編集》

Point

ルールのクリア

不要になった条件付き書式のルールは、クリアできます。

ルールをクリアする方法は次のとおりです。

- ◆セル範囲を選択→《ホーム》タブ→《スタイル》グループの (条件付き書式)→《ルールのクリア》

<結果>

	A	B	C	D	E	F	G
1	社員別売上成績				上期目標	下期目標	
2					28,000	29,000	
3							単位:千円
4	社員番号	氏名	支店	総合評価	上期実績	下期実績	年間実績
5	164587	鈴木 陽子	渋谷	C	24,501	28,563	53,064
6	166541	清水 幸子	横浜	A	30,120	33,540	63,660
7	168111	新谷 則夫	渋谷	B	28,901	26,152	55,053
8	168251	飯田 太郎	千葉	A	28,830	30,021	58,851
9	169521	古賀 正輝	横浜	B	29,045	28,740	57,785
10	169524	佐藤 由美	千葉	C	26,834	28,543	55,377
11	169555	笹木 進	浜松町	B	23,456	30,512	53,968
12	169577	小野 清	浜松町	A	34,569	35,210	69,779
13	169874	堀田 隆	横浜	C	23,056	25,332	48,388
14	171203	石田 満	横浜	C	21,980	26,800	48,780
15	171210	花丘 理央	千葉	C	27,349	24,250	51,599
16	171230	斎藤 華子	浜松町	A	30,123	31,650	61,773
17	174100	浜田 正人	渋谷	A	30,405	32,010	62,415
18	174561	小池 公彦	浜松町	B	30,102	28,720	58,822
19	175600	山本 博仁	横浜	C	27,893	23,647	51,540
20	176521	久保 正	浜松町	C	20,102	26,031	46,133
21	179840	大木 麻里	千葉	C	20,493	28,640	49,133
22	184520	田中 知夏	千葉	B	24,500	31,050	55,550
23	186540	石田 誠司	横浜	C	19,800	20,830	40,630
24	186900	青山 千恵	横浜	C	22,010	25,035	47,045
25	199912	高城 健一	渋谷	C	21,201	27,760	48,961

Lesson 64

次の操作を行きましょう。

(1) セル範囲 [E4:F25] にデータバーを設定

書式スタイル : オレンジ(グラデーション)

(2) セル範囲 [G4:G25] にカラースケールを設定

書式スタイル : 赤、黄、緑のカラースケール

最小値の種類 : 数値で40000

中間値の種類 : 百分位で80パーセンタイル

最大値の種類 : 数値で70000

(3) セル範囲 [H4:H25] にアイコンセットを設定

書式スタイル : 3つの信号(枠なし)

条件 : 値が100%以上の場合は緑色のアイコン

90%以上100%未満の場合は黄色のアイコン

(1)

①セル範囲 [E4:F25] を選択します。

②《ホーム》タブ→《スタイル》グループの (条件付き書式)→《データバー》→《塗りつぶし(グラデーション)》の《オレンジのデータバー》をクリックします。

※選択したセル範囲の数値をもとに、データバーの棒の長さは自動的に設定されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	社員別売上成績							
2								単位:千円
3	社員番号	氏名	支店	売上目標	上期実績	下期実績	年間実績	達成率
4	164587	鈴木 陽子	渋谷	56,000	24,501	28,563	53,064	94.8%
5	166541	清水 幸子	横浜	60,000	30,120	33,540	63,660	106.1%
6	168111	新谷 則夫	渋谷	57,000	28,901	26,152	55,053	96.6%
7	168251	飯田 太郎	千葉	57,000	28,830	30,021	58,851	103.2%
8	169521	古賀 正輝	横浜	59,000	29,045	28,740	57,785	97.9%
9	169524	佐藤 由美	千葉	59,000	26,834	28,543	55,377	93.9%

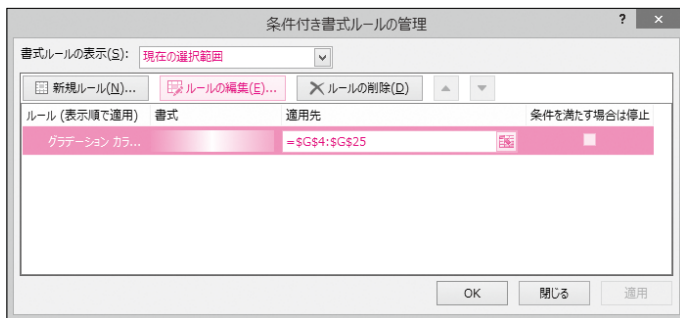
(2)

①セル範囲 [G4:G25] を選択します。

②《ホーム》タブ→《スタイル》グループの (条件付き書式)→《カラースケール》→《赤、黄、緑のカラースケール》をクリックします。

※選択したセル範囲の数値をもとに、自動的に色分けされます。

- ③セル範囲【G4:G25】が選択されていることを確認します。
- ④《ホーム》タブ→《スタイル》グループの「条件付き書式」(条件付き書式)→《ルール管理》をクリックします。
- ⑤《書式ルールの表示》が《現在の選択範囲》になっていることを確認します。
- ⑥一覧から「グラデーションカラー」を選択します。
- ⑦《ルールの編集》をクリックします。



- ⑧《最小値》の《種類》の▼をクリックし、一覧から《数値》を選択します。
- ⑨《最小値》の《値》に「40000」と入力します。
- ⑩《中間値》の《種類》が《百分位》になっていることを確認します。
- ⑪《中間値》の《値》に「80」と入力します。
- ⑫《最大値》の《種類》の▼をクリックし、一覧から《数値》を選択します。
- ⑬《最大値》の《値》に「70000」と入力します。
- ⑭《OK》をクリックします。



- ⑮《OK》をクリックします。

<結果>

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	社員別売上成績							
2								単位: 千円
3	社員番号	氏名	支店	売上目標	上期実績	下期実績	年間実績	達成率
4	164587	鈴木 陽子	渋谷	56,000	24,501	28,563	53,064	94.8%
5	166541	清水 幸子	横浜	60,000	30,120	33,540	63,660	106.1%
6	168111	新谷 則夫	渋谷	57,000	28,901	26,152	55,053	96.6%
7	168251	飯田 太郎	千葉	57,000	28,830	30,021	58,851	103.2%
8	169521	古賀 正輝	横浜	59,000	29,045	28,740	57,785	97.9%
9	169524	佐藤 由美	千葉	59,000	26,834	28,543	55,377	93.9%
10	169555	笹木 進	浜松町	58,000	23,456	30,512	53,968	93.0%
11	169577	小野 清	浜松町	63,000	34,569	35,210	69,779	110.8%
12	169874	堀田 隆	横浜	54,000	23,056	25,332	48,388	89.6%
13	171203	石田 満	横浜	50,000	21,980	26,800	48,780	97.6%
14	171210	花丘 理央	千葉	52,000	27,349	24,250	51,599	99.2%
15	171230	斎藤 華子	浜松町	56,000	30,123	31,650	61,773	110.3%

Point

《書式ルールの編集》ダイアログボックス(カラースケール)

- ①書式スタイル
2色の濃淡で色分けするときは「2色スケール」、3色の濃淡で色分けするときは「3色スケール」を選択します。
- ②最小値の色
最小値のセルに付ける色を設定します。
- ③中間値の色
3色スケールを選択した場合に、中間値のセルに付ける色を設定します。
- ④最大値の色
最大値のセルに付ける色を設定します。
- ⑤種類/値
種類には、「数値」「百分位」「パーセント」などが用意されています。「数値」は具体的な値を基準に色分けするときに選択します。「百分位」は、範囲内に順位を付けて色分けするときに選択します。小さい順に並べて100分の何番目の順位に相当するかを設定します。

(3)

- ① セル範囲【H4:H25】を選択します。
- ② 《ホーム》タブ→《スタイル》グループの「条件付き書式」(条件付き書式)→《アイコンセット》→《図形》の《3つの信号(枠なし)》をクリックします。
- ③ セル範囲【H4:H25】が選択されていることを確認します。
- ④ 《ホーム》タブ→《スタイル》グループの「条件付き書式」(条件付き書式)→《ルールの管理》をクリックします。
- ⑤ 《書式ルールの表示》が《現在の選択範囲》になっていることを確認します。
- ⑥ 一覧から《アイコンセット》を選択します。
- ⑦ 《ルールの編集》をクリックします。
- ⑧ 緑アイコンの1番目のボックスが《>=》になっていることを確認します。
- ⑨ 緑アイコンの《種類》の「▼」をクリックし、一覧から《数値》を選択します。
- ⑩ 緑アイコンの《値》に「1」と入力します。
- ⑪ 黄アイコンの1番目のボックスが《>=》になっていることを確認します。
- ⑫ 黄アイコンの《種類》の「▼」をクリックし、一覧から《数値》を選択します。
- ⑬ 黄アイコンの《値》に「0.9」と入力します。
- ⑭ 《OK》をクリックします。

Point

《書式ルールの編集》ダイアログボックス(アイコンセット)

① アイコンの順序を逆にする

アイコンの順番を逆にします。

② アイコンのみ表示

数値を非表示にします。

③ アイコンスタイル

アイコンセットの種類を指定します。

④ アイコン

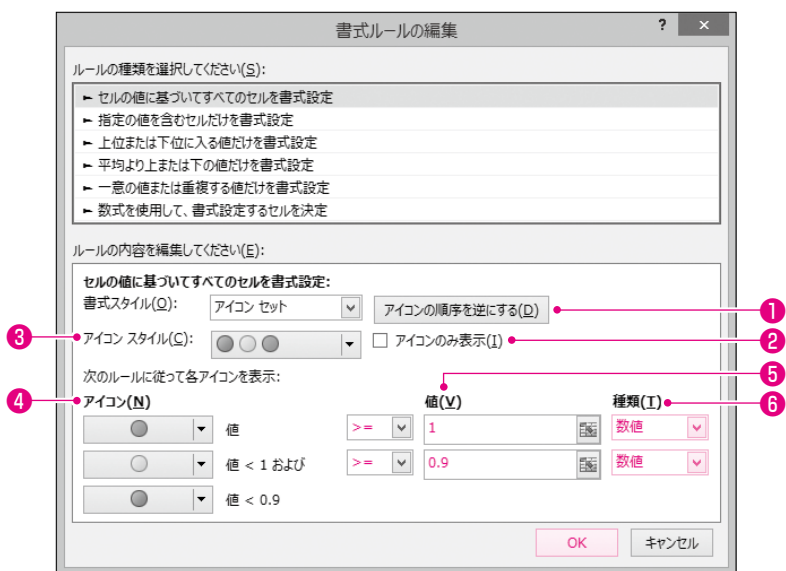
アイコンの種類を指定します。

⑤ 値

左側の比較演算子と組み合わせて、アイコンに割り当てる値の範囲を指定します。

⑥ 種類

アイコンに割り当てる値の単位を指定します。「パーセント」は全体に対する割合を指定する場合に使用します。



⑮ 《OK》をクリックします。

※設定した値に応じて、アイコンが表示されます。

<結果>

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	社員別売上成績							
2								単位:千円
3	社員番号	氏名	支店	売上目標	上期実績	下期実績	年間実績	達成率
4	164587	鈴木 陽子	渋谷	56,000	24,501	28,563	53,064	94.8%
5	166541	清水 幸子	横浜	60,000	30,120	33,540	63,660	106.1%
6	168111	新谷 則夫	渋谷	57,000	28,901	26,152	55,053	96.6%
7	168251	飯田 太郎	千葉	57,000	28,880	30,021	58,851	103.2%
8	169521	古賀 正輝	横浜	59,000	29,045	28,740	57,785	97.9%
9	169524	佐藤 由美	千葉	59,000	26,834	28,543	55,377	93.9%
10	169555	笹木 進	浜松町	58,000	23,456	30,512	53,968	93.0%
11	169577	小野 清	浜松町	63,000	34,569	35,210	69,779	110.8%
12	169874	堀田 隆	横浜	54,000	23,056	25,332	48,388	89.6%
13	171203	石田 満	横浜	50,000	21,980	26,800	46,780	97.6%
14	171210	花丘 理央	千葉	52,000	27,349	24,250	51,599	99.2%
15	171230	斎藤 華子	浜松町	56,000	30,123	31,650	61,773	110.3%
16	174100	浜田 正人	渋谷	55,000	30,405	32,010	62,415	113.5%
17	174561	小池 公彦	浜松町	56,000	30,102	28,720	58,822	105.0%
18	175600	山本 博仁	横浜	53,000	27,893	23,647	51,540	97.2%
19	176521	久保 正	浜松町	49,000	20,102	26,031	46,133	94.1%
20	179840	大木 麻里	千葉	51,000	20,493	28,640	49,133	96.3%
21	184520	田中 知夏	千葉	54,000	24,500	31,050	55,550	102.9%

5-1-4 データ範囲を変更する



解説

■データ範囲の変更

グラフのもとになるセル範囲を「データ範囲」といいます。グラフを作成したあとに、データ範囲は変更できます。表に追加したデータをグラフにも追加したい場合や、項目名が正しく認識されず意図したグラフができなかった場合などに、ユーザーがデータ範囲の詳細を設定できます。

Lesson 104

次の操作を行いましょう。

(1) グラフに2014年度のデータを追加

(1)



- ① グラフを選択します。
- ② 《デザイン》タブ→《データ》グループの  (データの選択) をクリックします。



- ③ 《グラフデータの範囲》に現在のデータ範囲が反転表示されていることを確認します。
- ④ セル範囲【A3:F8】を選択します。







How to データ範囲の変更

- ◆ グラフを選択→《デザイン》タブ→《データ》グループの  (データの選択)
- ◆ グラフを右クリック→《データの選択》
- ◆ グラフを選択→グラフ書式コントロールの  (グラフフィルター)→《データの選択》

Point

色枠を利用したデータ範囲の変更

グラフを選択すると、グラフのもとになるデータ範囲が色枠で囲まれて表示されます。色枠をドラッグして、データ範囲を変更することもできます。データ範囲の枠線をマウスポインターの形が  の状態でドラッグすると、位置を移動できます。データ範囲の四隅の  (ハンドル) をマウスポインターの形が  や  の状態でドラッグすると、領域を拡大・縮小できます。

Point

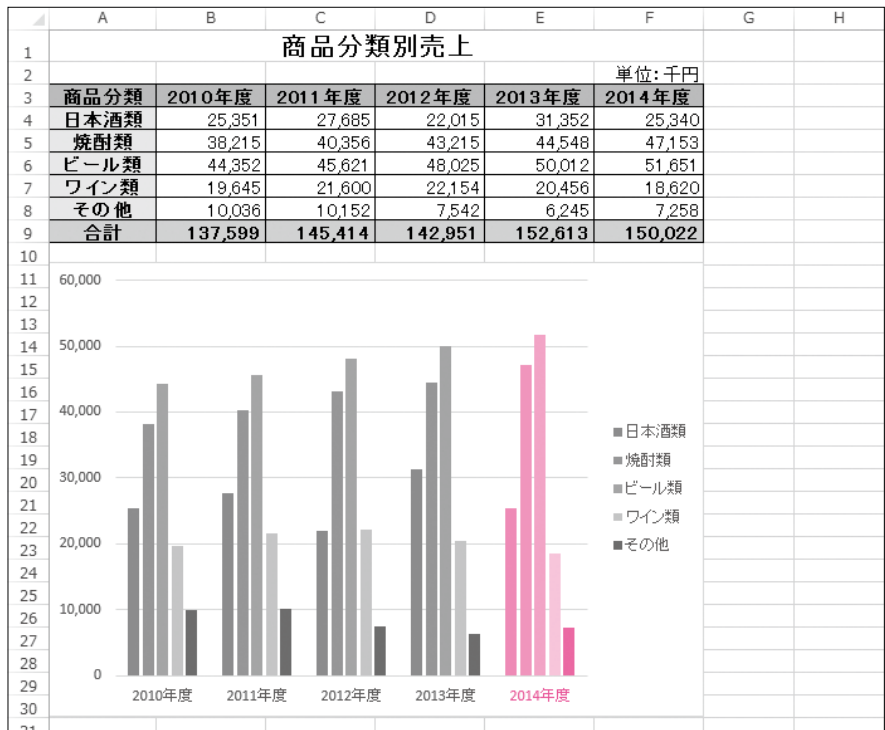
《データソースの選択》ダイアログボックス

- ① **グラフデータの範囲**
グラフのデータ範囲を指定します。
- ② **行/列の切り替え**
項目軸と凡例を切り替えます。
- ③ **凡例項目(系列)**
凡例の各項目の表示・非表示を個別に設定します。
《追加》《編集》をクリックすると、凡例のデータ範囲を変更することもできます。
《削除》をクリックすると、凡例を削除できます。
- ④ **横(項目)軸ラベル**
項目軸の各項目の表示・非表示を個別に設定します。
《編集》をクリックすると、項目軸のデータ範囲を変更することもできます。

⑤ 《グラフデータの範囲》が「=商品分類!\$A\$3:\$F\$8」になっていることを確認します。

⑥ 《OK》をクリックします。

<結果>



Point

項目名が正しく認識されない場合

項目名が数値の場合、軸ラベルとして認識されず、データ系列として認識されてしまうことがあります。軸ラベルとして認識させるには、《データソースの選択》ダイアログボックスで《凡例項目(系列)》から項目名を選択し《削除》をクリックします。次に《横(項目)軸ラベル》の《編集》で項目名のセル範囲を選択します。